

Okinoshimaだより



第182回 セーリングフェスタ 11月7日(日)



天候 晴れ
風 北4~6m

去る11月7日(日)セーリングフェスタを開催致しました。

今回は、9艇のエントリーを頂きました。

午前10時、レーススタート。北寄りのいい風が吹く中、全艇いいスタートを切りました。

そしてすぐにスピンやジェネカーが沢山揚がりました。第一マーク付近では風が少し振れ、ジブへの切り替えに戸惑う艇もありました。

第二マークへの上りでは、場所によって風が変わり各艇試行錯誤しながら走っていました。

その後、また風が上がりスピードを増した「HACKBERRY」がファーストホームを勝ち取りました。

それから各艇次々とゴールし、無事レースを終了することが出来ました。

12月も開催予定ですので、沢山のエントリーをお待ちしております。

艇名	艇種	フィニッシュ	着順	順位
はちきん	N300	10:33:58	3	1
Opus	J29	10:33:22	2	2
HACKBERRY	DUF045	10:31:51	1	3
AZTEC	YAMAHA25ML/OB	10:38:00	6	4
フィリエビパーチェ	NAKAYOSHI295	10:37:39	5	5
メルルーサ	J105	10:36:02	4	6
PLEIADESⅢ	YAMAHA30SⅡ	10:42:35	7	7
Peppermint	YAMAHA26CEX	10:52:41	9	8
あけぼの	OCEANIS321	10:51:56	8	9



忘年会(餅つき)中止のお知らせ

昨年同様、新型コロナウイルスの影響により、12月5日(日)に開催予定でした忘年会(餅つき)は本年度も中止と致します。

このところ感染者数は減少傾向にありますが、餅つきは沢山の方が食材を触るのと三密を回避するのが困難と判断致しました。

申し訳ございませんが、何卒ご理解をいただきますよう、よろしくお願い致します。



第183回セーリングフェスタ開催のお知らせ 12月5日(日)



今年の行事もいよいよ最後になりました。

別記事でご案内しておりますが、忘年会(餅つき)は中止致しますが、セーリングフェスタのみ開催致しますので沢山のエントリーをお待ちしております。

日時 12月5日(日) 09:00 ミーティング
10:00 レーススタート(予定)
12:00 タイムリミット(予定)

お申し込み マリーナ事務所まで



■以下、このイベントの趣旨として再確認をお願いします。

①ヨットルール基本3原則は最低限のルールですから、必ず守ってください。

- 1、ポートタック(非権利艇)x スターボードタック(権利艇)
- 2、風上(非権利艇)x 風下(権利艇)
- 3、追突の回避(オーバーラップの無い場合の後ろからの追突回避義務)

②ルールの中にも譲り合いを

上記ルールでの権利主張により、至近距離での競り合いになることも見かけられますが、技量や艇種の差もあり、うまくコントロールできない場合もあります。

接触や追突の可能性を考えてできるだけ回避できる体制をとるよう、スペースの確保(ルーム)と譲り合いをよろしくお願い致します。

イベントの結果として順位を決定しているものですが、あくまで皆様楽しんでいただくためのものであり、プロテストやコミッティーは存在しない自主運営形のお祭りイベントです。参加される皆様が不快な思いをされないようお互いに配慮をしていただくようお願い申し上げます。

ご理解、ご協力をお願い致します。

あまり知られていない船にまつわる謎

とある物知りな人からお聞きしたことの一部ですが、意外に知られていない船にまつわる謎について印象に残ったものををご紹介します。

◆「SOS」の由来

「SOS」と言えば、氷山に衝突したタイタニック号が打電したことで有名なモールス信号です。

この3文字の語源はSave Our Ship(私たちの船を助けてください)やSave Our Souls(私たちの魂を救ってください)の頭文字を並べたものと説明されることがありますが、実際は送打電しやすいモールス信号パターンというのが理由だそうです(何といっても3短点3長点3短点で済みますからね)。

ちなみに電話で遭難を知らせる時は「Mayday(メーデー)」が使われます。確かにこの場合も「キヤー」とか「うあー」と同じくらい叫びやすいですね。ちなみにメーデーの場合はフランス語のm'aidez(私を助けて)が語源です。

最近の自動化・デジタル化の波は歴史あるSOSにも押し寄せ、1999年にはついに新しい遭難信号(Global Maritime Distress and Safety System: GMDSS) にとって代わられたのです。GMDSSを用いれば、通信技能を持たない乗組員でも取り扱い可能なので、緊急時には安心ですし、省人化にもつながります。また人工衛星を利用することで安定した通信が可能になるなど、すでに「SOS」は使用されていません。

◆コンパスの元祖は魚の形をしていた

我々も船の上でよく使う磁気コンパスですが、磁石のN極とS極が、それぞれ北と南の方角を向くことは、ご存知のはずです。

鉄を吸い付ける不思議な石＝磁石の存在は古くから知られていましたが、磁石にN極とS極の2種類があることに気づいたのは、約2千年前の中国人だったと言われているそうです。

3世紀頃より中国で使われた、コンパスの元祖とも言える道具が「指南魚」(しなんぎょ)というもので、魚をかたどって彫られた木片に、鉄の針を熱してそれを南北方向に置いて冷やし、磁化させた磁針(じしん)を埋め込み、水に浮かべると魚の頭が常に南を向く仕組みです。南の方角を指す魚なので、指南魚と呼ばれたそうです。

磁石の原理を利用した磁気コンパスは、のちにヨーロッパへ伝わり、現在の形に近いコンパス(羅針盤)が開発されたんだそうです。しかし船の材質が木から鉄に変わり、鉄の船体が磁石に影響して方位が正しく表示されないという問題が生じたので、磁石に代わる、磁気の影響を受けないコンパスとして、回転するコマの原理を応用した「ジャイロコンパス」が開発され、現在でも船や飛行機分野で広く使われているという訳です。最近では磁気センサーを使った「電子コンパス」が携帯電話に内蔵され、自分が歩く方向にあわせて表示が回転する、地図アプリなどで活用されているということです。

◆船上の時刻

大型客船で太平洋を横断なんて夢のまた夢です。複数の国を結ぶ国際航路。それぞれの国は標準時を持っていますが、経度に応じて時差が生じます。

国際航海する船のなかではどのような時間に時計を合わせているのか？ 航行している場所での標準時を用いるのだそうです。例えば日本の港を出港しアメリカ西海岸まで航行するとき、7つのタイムゾーン(標準時間帯)を横切ります。船の中ではタイムゾーンが変わるたびに、時計の針を早めることになります。つまり、東向きの航路では、どんどん時刻が早まり、時間を損する？ ことになります。逆に西向きの航路であれば、タイムゾーンを通過するごとに時計を遅らせるので、時間を得する？ ことになります。逆回転する時計を見てみたいですね。感覚的にどうなるのかよくわかりませんが、もし、国際クルーズを利用されるときは、船の時計に注目してみてください。

◆スターボードとポートの由来

スターボードとは右舷のことですが、右利きの人が舵を操作するのに船の右側に舵あった方が便利で、船尾の右舷側についていましたので、右舷のことをスティアリング(steering: 舵を取ること)ボード(board: 板)と呼び現在では、これがなまってスターボードに。左舷は舵が無かったので、港につけて人や積み荷の出し入れ口としました。このことから、ポート(port: 港)サイドと呼ばれています。現在も、多くの大型船が左舷に接岸しています。左舷への接岸の考え方は、航空機にも取り入れられており、人の出入り口は機体の左側に設けられています。ただ航空機では機体の右側、左側のことをスターボード、ポートとは呼んでいないようですね。

◆領海の定義

海は、「領海」、「排他的経済水域」、「公海」と大きく3つに分けられますが、沿岸国の主権がおよぶ海域を「領海」と呼び、外国の船は勝手に航行できません。隣国とよく問題になるのが「排他的経済水域」で、漁業や資源開発などは行えますが、外国船の航行は自由です。「公海」はどこの国のものでもない海を指します。

「領海」の範囲については、各国によって主張が食い違いましたが、多くの国に認められてきたのが、領海3海里です。3海里というのは、18世紀半ば～19世紀当時に海岸線から海に向かって大砲を発射して、着弾する距離を参考にして決められたものだそうです。他の国が侵入してきたときに、大砲で撃退することによって、自国を守る範囲だったとか。その後さまざまな議論が重ねられましたが、現在では国連海洋法条約によって、「領海」は最大限12海里と規定されています。

会話のネタにしてみてください(笑)

(propman)



ライフジャケット着用のお願い



既に周知をさせていただいております、平成30年2月から小型船舶の船室外でのライフジャケット着用(桜マークの付いたものに限る)が義務化されました。

屋根と壁に囲まれた船室の中にいる方は適用除外になります。
※屋根だけを有するスペースのような風雨にさらされる場所は適用除外になりません。

※船室の窓や扉、甲板上のハッチが一時的に開いていてもその内部は適用除外になります。

命綱・安全ベルトを着用している方は適用除外になります。

乗船者にライフジャケットを着用させなかった船長(小型船舶操縦者)には違反点が2点付き、船舶免許の再講習を受けなくてはなりません。ただし、違反点数の付与は、令和4年2月1日まで行われませんが、着用による生存率は2倍以上とも言われています。

船外では必ず着用を心がけるようにしてください。



↑ 桜マーク

株式会社トス 沖野島マリーナ

〒737-2214

広島県江田島市大柿町深江 836-3

Tel 0823 (57) 2450

Fax 0823 (57) 6845

HP <http://www.okinoshima-marina.jp>

Email info@okinoshi-marina.jp

発行責任者：山内貴宏

制作・編集：propman



編集後記

先日、ひろしま美術館で開催されている「バンクシー展 天才か反逆者か 広島エディション」に行ってきました。バンクシーの作品の大半は壁面に描かれるため、すぐに塗りつぶされてしまったり、切り抜かれてしまうので、現存しているものは多くは無いようです。そんななか、複数の個人コレクターの協力のもと、貴重なオリジナル作品を含む、版画、立体オブジェクトなど70点以上のバンクシー作品を始め、映像やポスターなど計100点以上を過去最大級の規模で日本に集結させたそうです。

確かに作品の現物は殆どないのですが、様々な皮肉のこもった風刺画やユーモアのある絵も一堂にして同時に沢山見ることができました。

写真撮影も可能ですし、スマートフォン専用アプリをインストールし、作品

番号を入力することでその作品の説明を見ることができるようになっています。

音声ガイドなどなので、イヤホンをお忘れなく。

特にアートと風刺のテーマパーク「ディズマランド」の映像インスタレーションは、内容が衝撃的で、暫くの間見入ってしまいました。

今回は広島と東京のもの開催なので、平日でも入場者数が多く、混み合うことが多い様子ですが、夕方ならやや回避できるかと思います。

開催期間は12月5日までのあと僅かです。興味のある方、是非とも足をお運びください。

平日料金

一般¥1,800 高大¥1,600 小中¥1,200

土日祝料金

一般¥2,000 高大¥1,800 小中¥1,400

12月5日(日)まで 会期中無休

9:00~17:00(金・土は~19:00)※入館は閉館の30分前まで

チケットと入館時間は完全予約制。

下記webにてQRコードチケットでのご入場となります。

下記で申し込み↓

<https://banksyexhibition.jp>

(propman)

